

授業概要

本講義は、財務諸表論Ⅰの内容をふまえ、企業会計の理論を学ぶものである。授業では、会計諸規則や会計の諸概念を体系的に説明するとともに、主な会計処理問題を会計制度に織り込みながら解説する。

特に、財務会計の概念フレームワーク、時価主義会計、連結会計、減損会計など現代企業社会が直面している会計処理問題を具体的に解説する。

授業計画

第 1 回	主財務諸表の種類とその特徴
第 2 回	会計フレームワークと会計基準①
第 3 回	会計フレームワークと会計基準②
第 4 回	時価会計の意義と処理
第 5 回	公正価値評価の測定
第 6 回	連結会計①（連結基礎概念、連結範囲及び手続）
第 7 回	連結会計②（連結修正仕訳、持分法）
第 8 回	企業結合会計
第 9 回	外貨換算会計
第 10 回	デリバティブ取引とヘッジ会計
第 11 回	リース会計
第 12 回	減損及び資産除去債務の会計
第 13 回	研究開発費の会計
第 14 回	退職給付の会計
第 15 回	税効果会計
第 16 回	定期試験

到達目標

経済経営のグローバル化に対応できるように、財務会計に関する高度の専門性と経済経営社会への関心や国際的な視野を広げることを意図している。

履修上の注意

- ・「財務諸表論Ⅰ」を履修すること。
- ・複式簿記の原理を理解していることが望ましい。

予習・復習

授業の理解度を高めるために、講義内容に合わせて簿記検定の既述問題を解かせる。

評価方法

定期試験の成績（80%）、レポートの内容（20%）により評価する。

テキスト

- ・教科書名：基礎から学ぶ会計学
- ・著者名：近田典行 他
- ・出版社名：中央経済社

- ・必要に応じて、資料を配布する。